

1. 事業の概要

平成21年度、本学が行った取り組み等は次のとおりです。
「キャリア短大」として独自の特徴を生かし、本学のイメージアップを図ることにより、多くの方々に入学を希望してもらいました。平成22年度の最終入学手続者数は商学科190名、国際コミュニケーション学科172名の合計362名で、定員充足率120.7%となりました。

景気低迷による厳選採用など、就職活動をする学生たちにとっては逆境となりましたが、就職内定率92.1%を達成することができ、就職の安定感を示すことができました。また、さまざまな業種の企業などで、実際の仕事を体験するインターンシップには、延べ321名(前年比116%)の学生が参加し、延べ142社で実施しました。今回初めて国内だけでなく、海外でのインターンシップをカナダ・バンクーバーとアメリカ・グアムで行い、学生たちの意欲に積極的に応えることができました。

さらに、平成22年度には短期大学基準協会による第三者評価が予定されており、その基準に沿った自己点検・評価を実施し、教育研究における主体的改革・改善への取り組みが図られました。

一方、地元日高市との連携により、恒例となった小学生の体験授業の手伝いや地元小学校への学習支援ボランティア、日高市教育委員会との共催による公開講座の開講等が行われ、地域貢献を深めることができました。

2. 定員と学生の状況

平成22年5月1日現在の入学定員、総定員、総在籍数、定員充足率は以下のとおりです。

学科名	入学定員	総定員	総在籍数/定員充足率
商学科	150名	300名	430 / 143.3%
国際コミュニケーション学科	150名	300名	362 / 120.7%
合計	300名	600名	792 / 132.0%

3. 財務の概要

平成22年3月末日現在の財務状況と当期の予算執行状況は次のとおりです。

(1) 財産目録

財産目録

平成22年3月31日現在

I. 資産総額	金 8,983,803 千円	II. 負債総額	金 2,251,249 千円
内 基本財産	金 6,622,408 千円	III. 正味財産	金 6,732,554 千円
運用財産	金 2,361,395 千円		

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	
土地	64,352.28 m ² 3,603,626 千円
建物	16,049.95 m ² 2,716,055 千円
構築物	26点 70,929 千円
図書	60,692冊 188,626 千円
教具・校具	2,319点 34,455 千円
その他の備品	376点 8,717 千円
2. 運用財産	
現金預金	1,362,166 千円
その他	999,229 千円
資産総額	8,983,803 千円
負債額	
1. 固定負債	
長期借入金	632,612 千円
その他	327,638 千円
2. 流動負債	
短期借入金	137,372 千円
その他	1,153,627 千円
負債総額	2,251,249 千円
正味財産 (資産総額-負債総額)	6,732,554 千円

(2) 貸借対照表

貸借対照表
平成22年3月31日現在

(単位千円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	7,547,381	7,693,377	△145,996
有形固定資産	7,233,622	7,384,920	△151,298
土地	4,157,819	4,157,819	0
建物	2,772,460	2,895,322	△122,862
その他の有形固定資産	303,343	331,779	△28,436
その他の固定資産	313,759	308,457	5,302
流動資産	1,436,422	1,537,075	△100,653
現金預金	1,362,166	1,489,871	△127,705
その他の流動資産	74,256	47,204	27,052
資産の部合計	8,983,803	9,230,452	△246,649
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	960,250	1,057,779	△97,529
長期借入金	632,612	738,484	△105,872
その他の固定負債	327,638	319,295	8,343
流動負債	1,290,999	1,346,170	△55,171
短期借入金	137,372	123,372	14,000
その他の流動負債	1,153,627	1,222,798	△69,171
負債の部合計	2,251,249	2,403,949	△152,700
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	8,867,403	8,864,737	2,666
第2号基本金	0	0	0
第3号基本金	55,000	55,000	0
第4号基本金	231,000	231,000	0
基本金の部合計	9,153,403	9,150,737	2,666
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△2,420,849	△2,324,234	△96,615
負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計	8,983,803	9,230,452	△246,649



(3) 資金収支計算書

資金収支計算書

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

(単位千円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,644,905	1,644,905	0
手数料収入	12,840	12,825	15
補助金収入	29,503	38,210	△ 8,707
国庫補助金収入	25,653	32,933	△ 7,280
地方公共団体補助金収入	3,850	5,277	△ 1,427
資産運用収入	45,453	45,724	△ 271
事業収入	33,930	40,278	△ 6,348
雑収入	23,665	17,806	5,859
借入金収入	42,000	42,000	0
前受金収入	970,947	1,020,887	△ 49,940
その他の収入	28,343	38,616	△ 10,273
資金収入調整勘定	△ 1,139,608	△ 1,168,422	28,814
前年度繰越支払資金	1,489,872	1,489,872	0
収入の部合計	3,181,850	3,222,701	△ 40,851
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	770,792	746,011	24,781
教育研究経費支出	603,239	590,319	12,920
管理経費支出	304,971	316,595	△ 11,624
借入金等利息支出	20,126	20,126	0
借入金等返済支出	133,872	133,872	0
施設関係支出	36,500	36,280	220
設備関係支出	23,764	21,641	2,123
その他の支出	98,413	98,895	△ 482
予備費	10,000	0	10,000
資金支出調整勘定	△ 72,169	△ 103,204	31,035
次年度繰越支払資金	1,252,342	1,362,166	△ 109,824
支出の部合計	3,181,850	3,222,701	△ 40,851

(4) 消費収支計算書

消費収支計算書

平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日

(単位千円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,644,905	1,644,905	0
手数料	12,840	12,825	15
寄付金	5,512	2,145	3,367
補助金	29,503	38,210	△ 8,707
国庫補助金	25,653	32,933	△ 7,280
地方公共団体補助金	3,850	5,277	△ 1,427
資産運用収入	45,453	45,725	△ 272
事業収入	33,930	40,278	△ 6,348
雑収入	23,665	17,806	5,859
帰属収入の部合計	1,795,808	1,801,894	△ 6,084
基本金組入額合計	△ 3,000	△ 2,666	△ 334
消費収入の部合計	1,792,808	1,799,228	△ 6,420
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費	774,555	749,764	24,791
教育研究経費	753,613	736,360	17,253
管理経費	342,957	359,300	△ 16,343
借入金等利息	20,126	20,126	0
資産処分差額	23,936	23,981	△ 45
徴収不能引当金繰入額等	6,910	6,312	598
予備費	10,000	0	10,000
消費支出の部合計	1,932,097	1,895,843	36,254
当年度消費支出超過額	139,289	96,615	
前年度繰越消費支出超過額	2,324,234	2,324,234	
翌年度繰越消費支出超過額	2,463,523	2,420,849	

(5) 監査報告

監査報告書

学校法人 川口学園
理事会・評議員会 御中

平成 22 年 5 月 14 日
学校法人 川口学園
監事 石川 力
監事 坂本 正一郎

私たちは、学校法人川口学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の平成 21 年度(平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び附属明表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧しました。また、事業報告書の内容についてもチェックを行うなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以上

